

アンデパンダン大会における生徒の動き

0. はじめに

今年度、NHK 県大会・県総文の動きを基本とします。

1. 大会前までの動き

審査チーフの皆さん

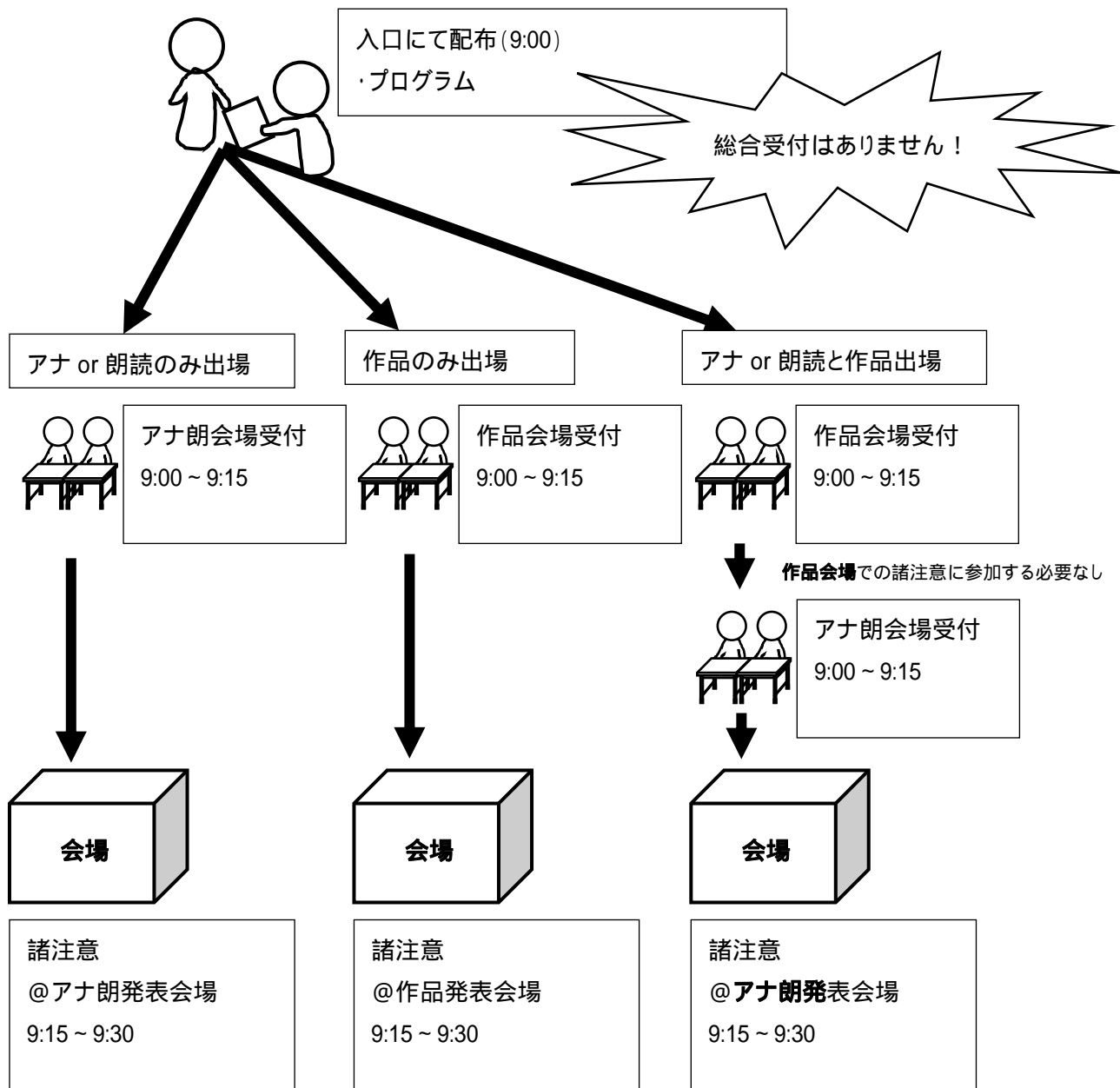
集合時間 8:30@ 2F 会議室

絶対に遅れないように来て下さい(大会運営に多大な影響をおよぼします)。

審査員および予備審査員の皆さん

集合時間 9:00@ 3F 演習室 3B

絶対に遅れないように来て下さい(大会運営に多大な影響をおよぼします)。



2.大会

9:30 ~

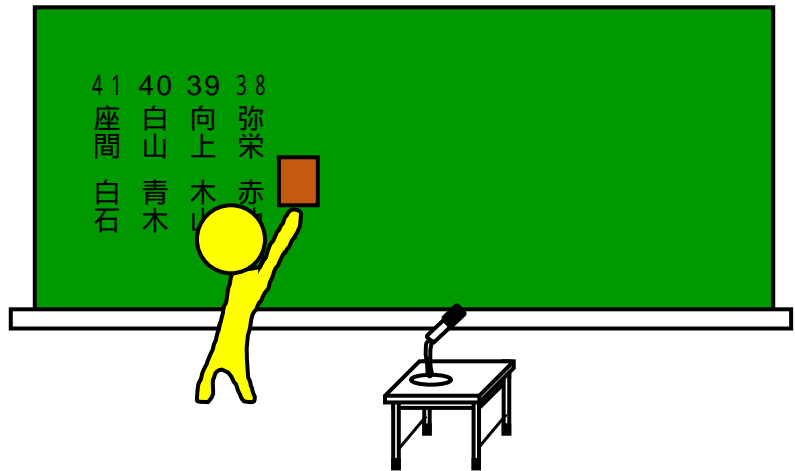
A.アナ朗

○発表者全員の任務

NHK 大会のあり方を利用。

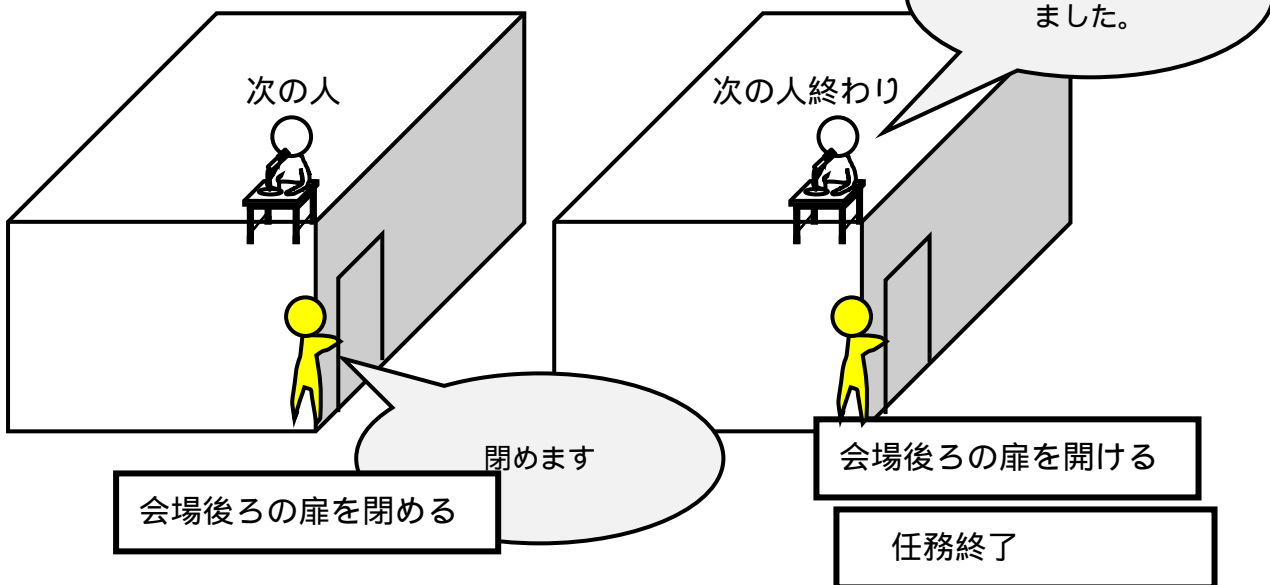
ドアマンの任務あり。

発表が終わったら自
分の名前を消す



次の発表者のために
ドアマンをする

発表中の出入りはさせない

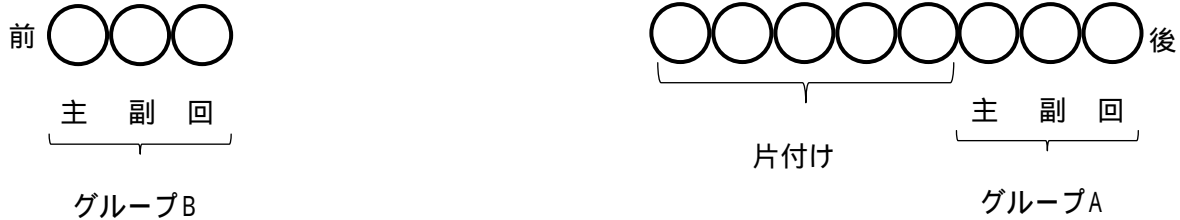


○特定の生徒のみの任務

当日の諸注意の際に確定するので全員必ず理解しておくこと。

a)以下の発表番号の生徒が下記の任務を行うことになる。

欠席者がいる場合は**ずれる**ことになるので必ず、**全員が全ての任務**を理解しておくこと



b)主 主計時(スクリプト出し入れ含む)

c)副 副計時

d)回 審査用紙回収

e)任務時間

グループA:最初から5人の発表が終わるまで

グループB:6人目から最後まで。

B. 番組

○最後の5名が準備片付けおよび審査補助

欠席者およびアナ朗に出場する生徒を飛ばした最後の5名となるので、必ず**全員が全ての任務**を理解しておくこと。

Aさん 計時(主)

Bさん 計時(副) + 黒板

Cさん 回収

Dさん ドアマン

Eさん 予備

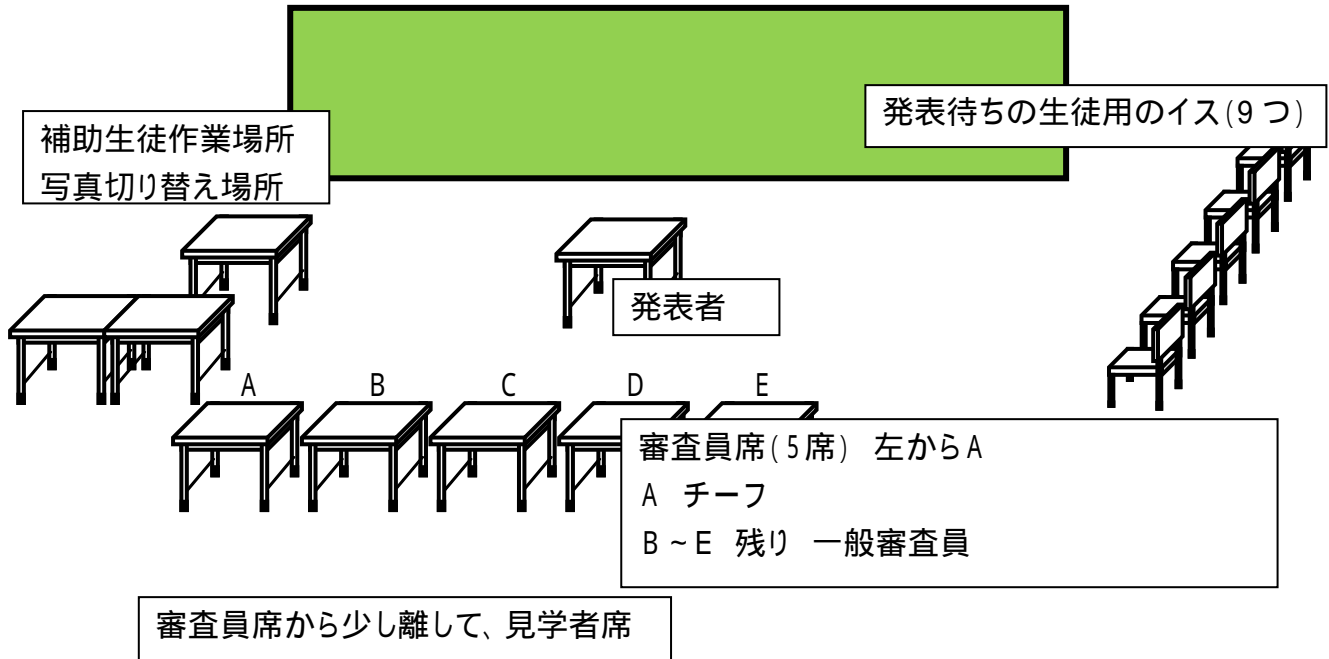
2. 大会終了後

担当者は片付けおよび原状復帰。

機材を本部に運び、任務終了報告後解散

会場の設営 会場図はプログラム参照

プログラムで審査員の人数を確認の上、椅子・机を人数分並べる。
アナウンス・朗読部門は、出場者待機用に、9人分椅子を並べる。
機器の点検・・・デッキなど音・画像を出して異常なしを確認する。
何かトラブルがあったら、本部の役員教員まで連絡すること。



○黒板

黒板にはプログラムの通りに、**番号・学校名**を書く。尚、学校・氏名は略称でよい。

例)法政二大学第二高等学校 法政二

棄権の場合は、黒板にその旨を記入する。

例)法政二

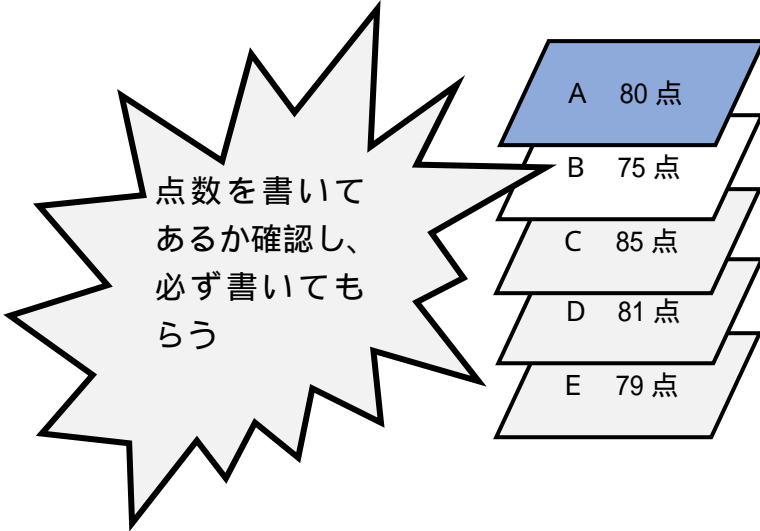
○審査用紙の準備

審査用紙には、あらかじめ審査員記号(A・B・C・・・)とエントリー番号を記入しておく

(印刷されていれば必要なし)。

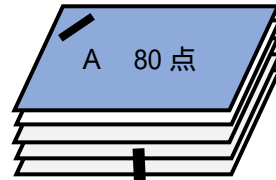
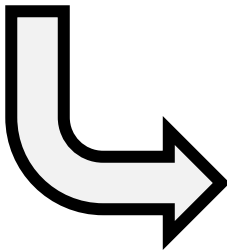
各審査員の机に、筆記用具を準備する。その際、シャープンの芯が十分にあるか確認する。

回収係



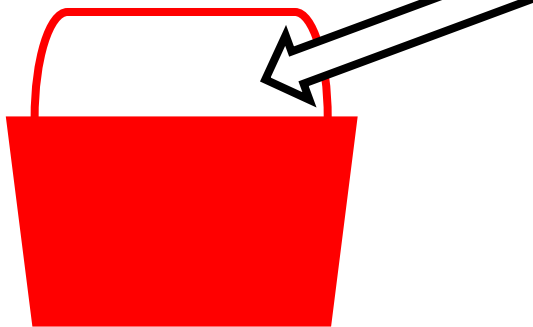
審査用紙は図の順番になるように回収すること

ホチキスで左上を留める



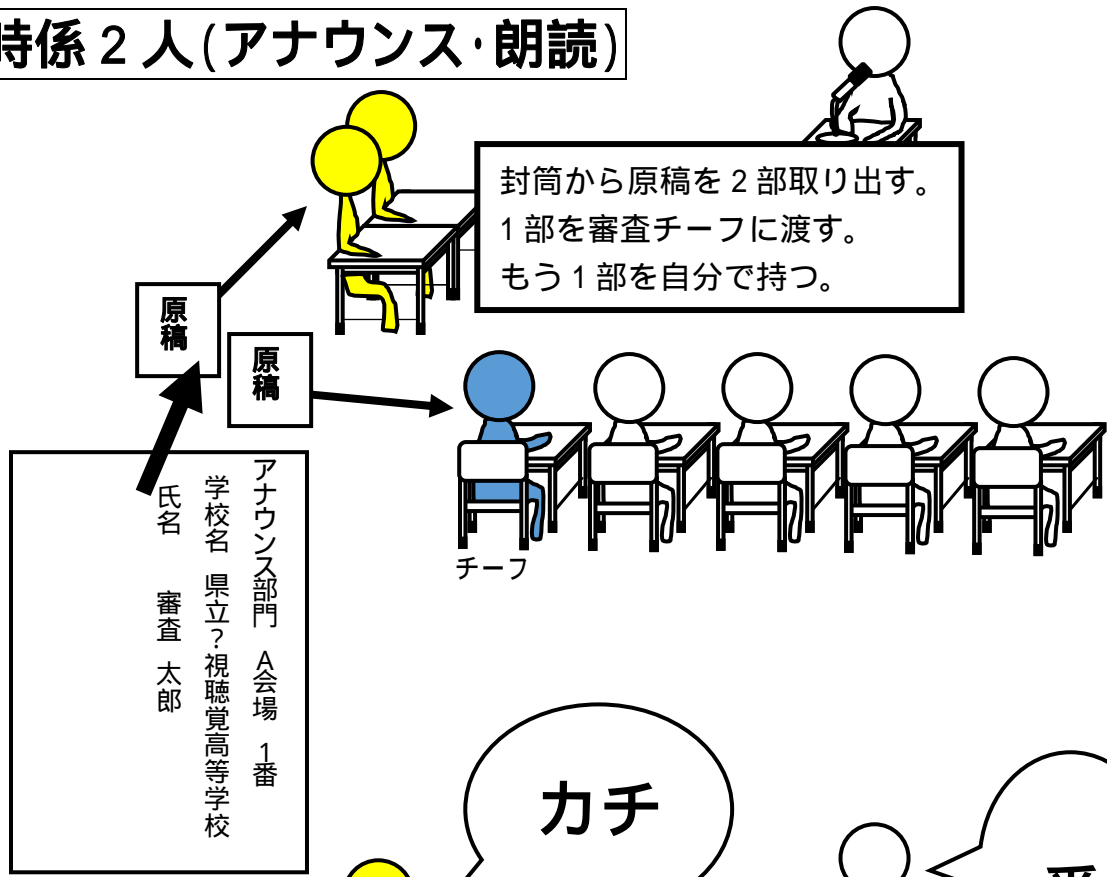
封筒に入れる

回収用のカゴに入れる



アナウンス部門 A会場 1番
学校名 県立？視聴覚高等学校
氏名 審査 太郎

計時係 2 人(アナウンス・朗読)



カチ

カチ

番

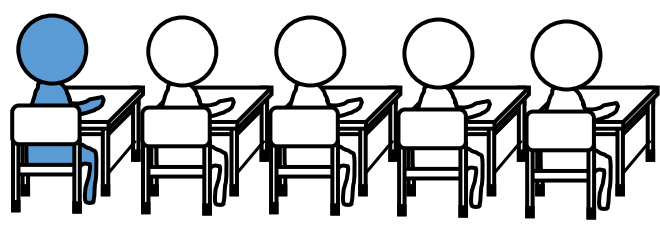
第一声から計測開始

カチ

1分30秒です

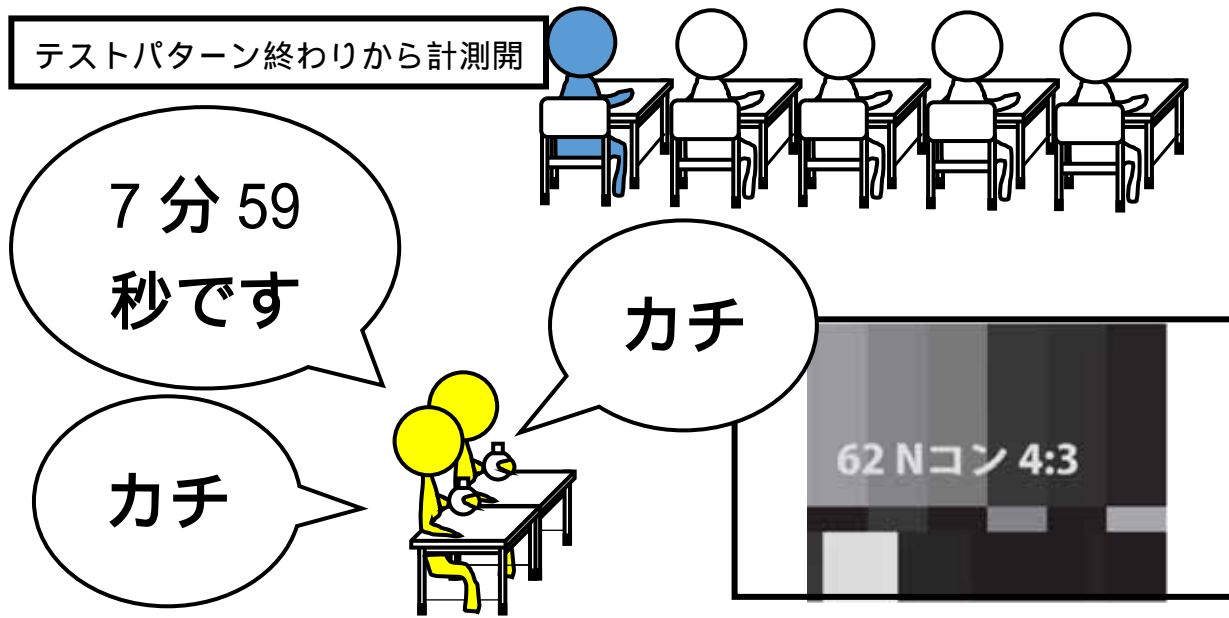
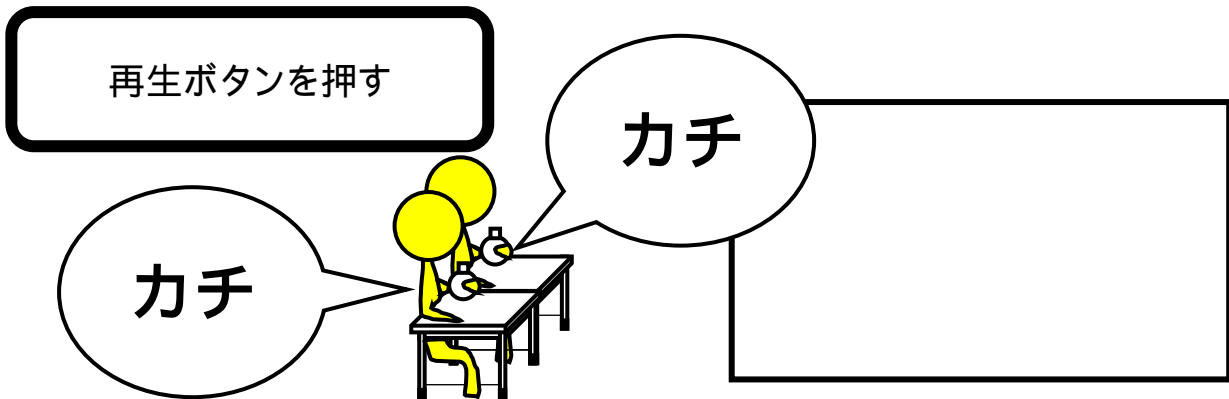
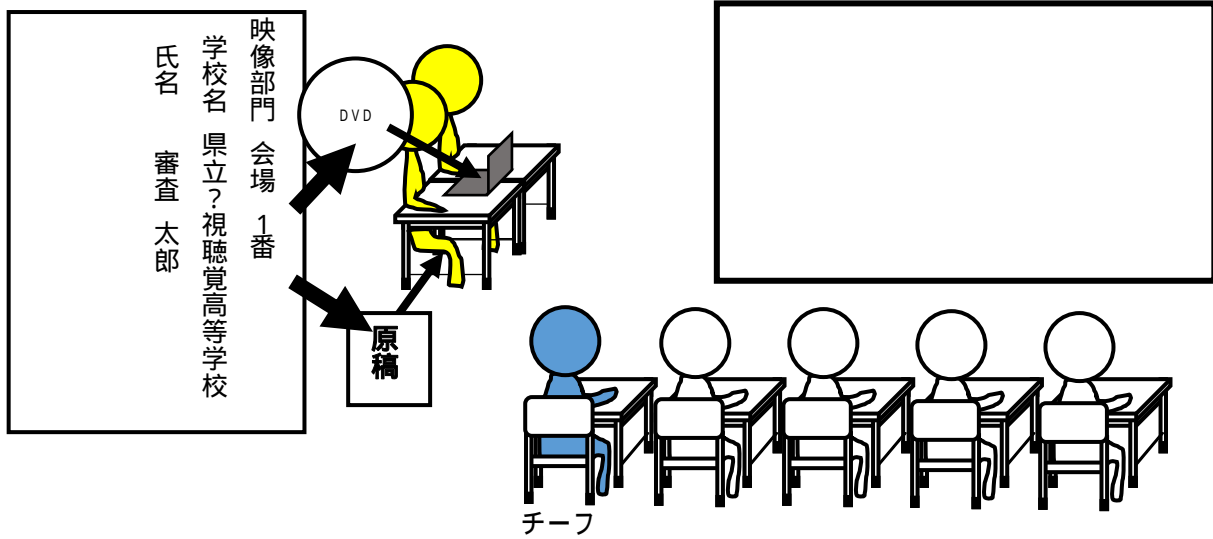
カチ

最後の声(原稿参照)で計測終了。時間を言う。



計時係(映像)

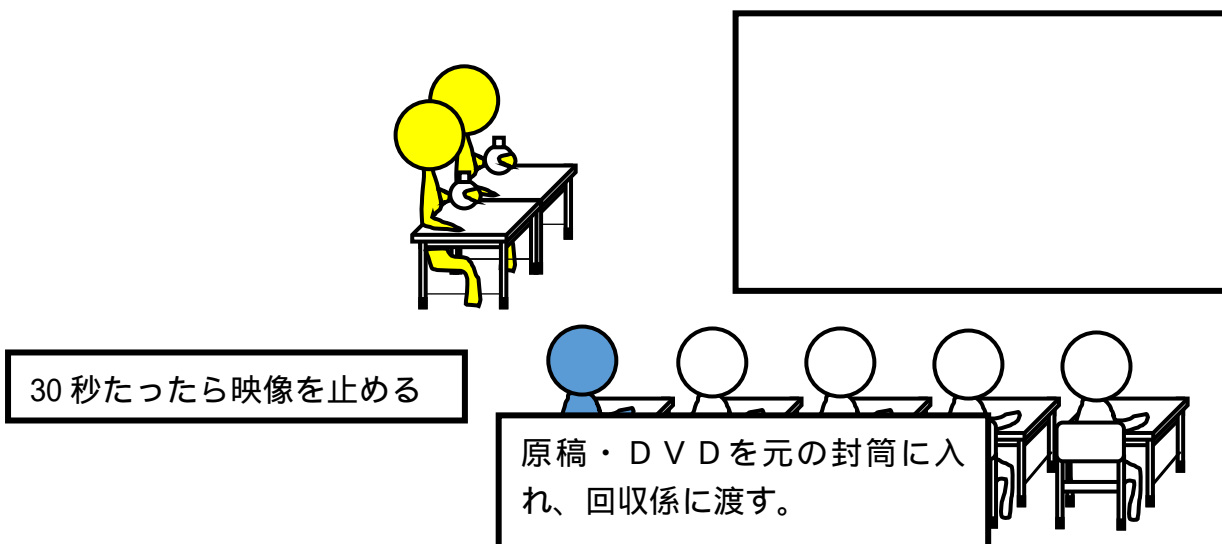
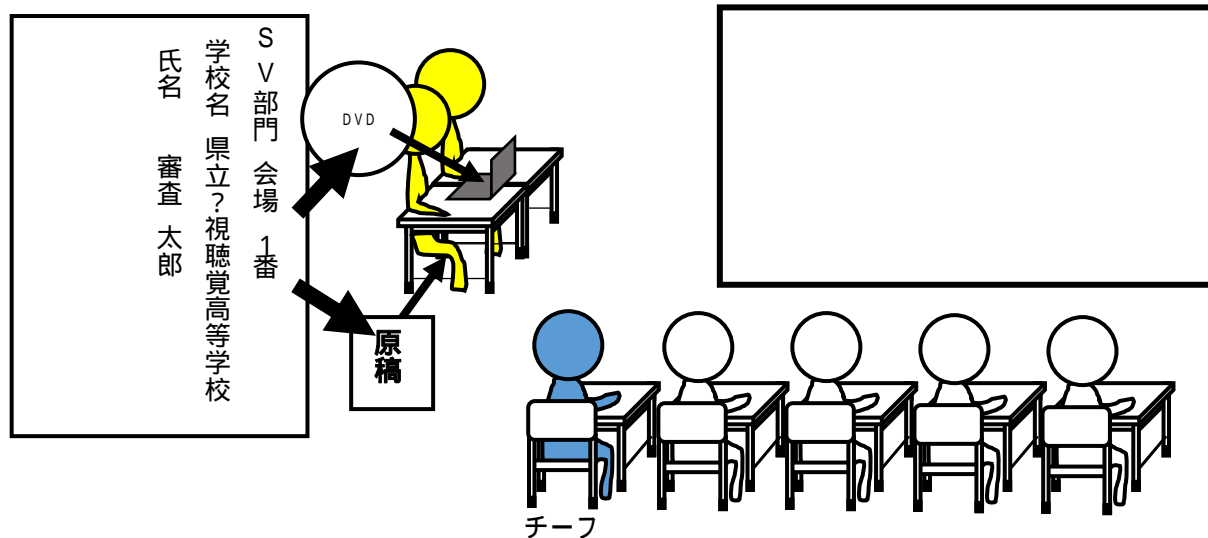
再生機器二つを、切り替えスイッチを使って交互に再生する(読み込み時間の短縮のため)。一方の機器で再生中に、もう一方の機器のDVDを入れ替えて次の再生に備える。



計測ミス防止のため、必ず二人とも時間を計ること。

計時係(SV)

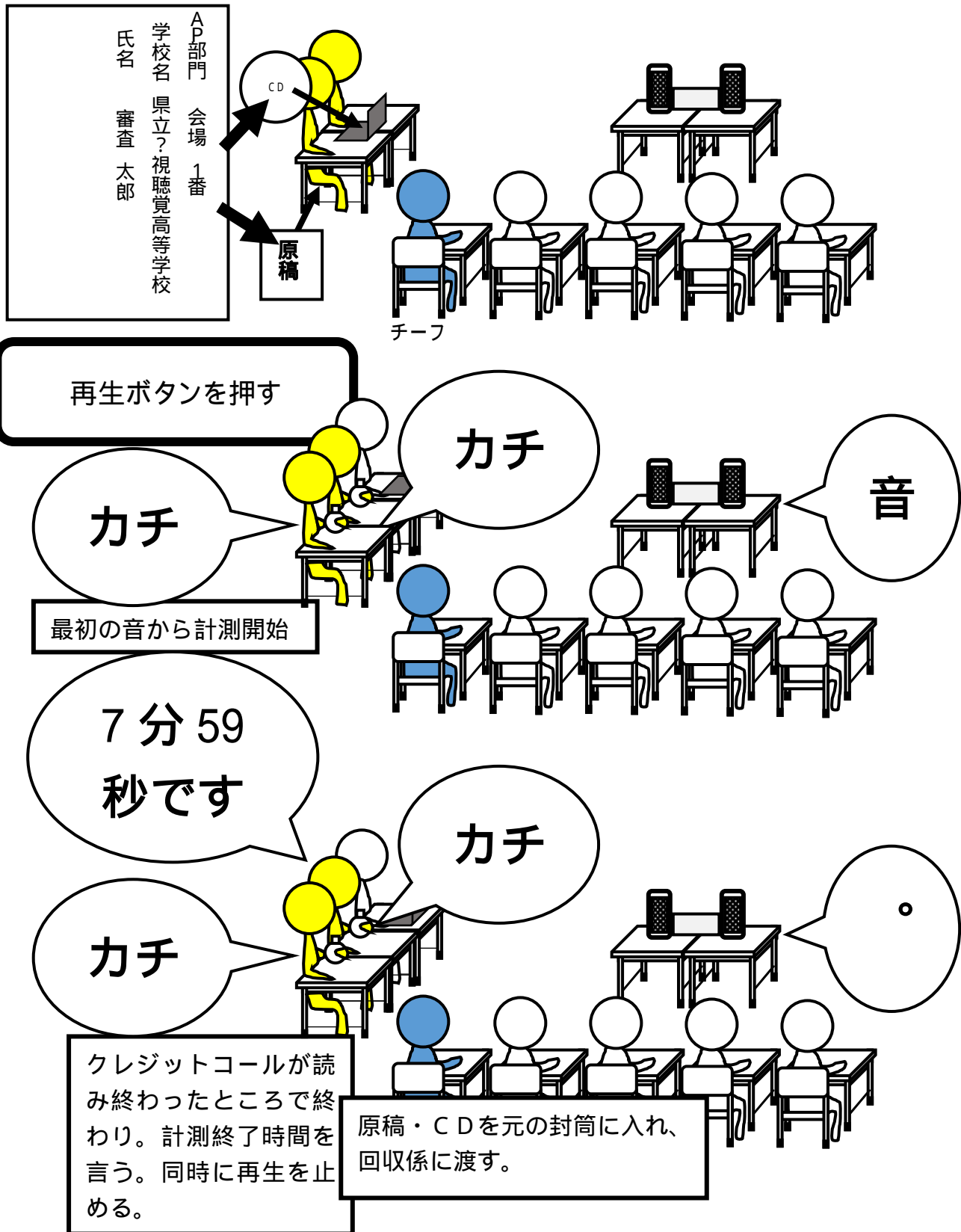
再生機器二つを、切り替えスイッチを使って交互に再生する(読み込み時間の短縮のため)。一方の機器で再生中に、もう一方の機器のDVDを入れ替えて次の再生に備える。



計測ミス防止のため、必ず二人とも時間を計ること。

計時係(放送劇)

再生機器二つを、切り替えスイッチを使って交互に再生する(読み込み時間の短縮のため)。一方の機器で再生中に、もう一方の機器のCDを入れ替えて次の再生に備える。



計測ミス防止のため、必ず二人とも時間を計ること。